

(別紙)

成果の説明書

(氏名)坪井明彦	(学部)地域政策学部
<p>1 重要事項</p> <p>(1) 地域デザイン学会編集、原田保ほか編著 (2014)『世界遺産の地域価値創造戦略』芙蓉書房出版、第13章「富岡製糸場と絹産業遺産群—シルクカントリーとしてのコンテキストデザイン」の執筆。</p> <p>(2) 『地域ブランドとマーケティング』(同友館)の分担執筆</p> <p>(3) ゼミ活動：正規の授業以外にPBL (Project Based Learning) に注力した。</p> <p>① リクルート北関東マーケティング(RMK)との産学連携プロジェクト 「中心市街地活性化のために人気飲食店の秘訣を調査し、報告する」という課題への取り組みに関わる調整や指導。なお、この調査結果と活性化のための提案は、「自分たちの街の元気を考える」調査報告会(リクルート北関東マーケティング×高崎経済大学地域政策学部 産学連携プロジェクト(前橋市共催))[2013年11月20日前橋国際交流広場ホール]において報告し、RMK社、リクルート社、行政関係者、商工会議所、商店街関係者、飲食店主、大学関係者など約100名が出席したが、非常に良好な評価であった。</p> <p>② 渋川市中心市街地活性化のための調査 2008年から渋川市から受託しているプロジェクトであり、本年度は、</p> <ul style="list-style-type: none">・中心市街地の通行量調査・「シブめし」(渋川市のB級グルメ的な名物)の考案とプレゼンテーション・まちなか交流イベント2013への参加・空き店舗活用の企画案のプレゼンテーションおよび店舗(へそカフェ)運営を実施した(『平成25年度渋川市中心市街地活性化のための調査報告書』(平成25年3月)参照)。	
<p>2 その他の事項</p> <p>(4) 日本ビジネス実務学会における活動</p> <p>① 日本ビジネス実務学会総務・企画委員長(副会長)として、日本ビジネス実務学会の運営に尽力。</p> <p>② 日本ビジネス実務学会第32回全国大会(2013年6月7・8日)の副実行委員長として、研究発表の募集やプログラム・要旨集の作成・発行に関わる業務、当日の運営に尽力した。</p> <p>(5) 地域活性学会における活動</p> <p>① 編集委員(理事)として、学会誌・地域活性研究の発行のために尽力した。</p> <p>2014年度においても引き続き、ゼミ活動を通じたPBLに取り組むことと地域活性化に貢献するような教育・研究に取り組んでいきたい。</p>	